

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	状態に変化があったり、意向が変わった時には介護認定の更新や変更を待たずに、その都度、介護計画の見直しを実施する事が望まれる。	利用者の状態に合った介護計画を作成し、実施していく。状態や意向に変化があった場合には、すぐに計画を立て直し、目標達成のための話し合いをしていく。	1. まず状態や意向に合った計画作成 2. 計画を実施するための会議と意思統一 3. 実施の記録	12ヶ月
2	23	「気付き記入用紙」に綴られた利用者ぼ思いや意向を可能なものについては介護計画につなげていく仕組み作りを望みたい。	「気付き記入用紙」をもとに、介護計画につなげられるものを検討していく。	毎月のミーティング時に検討し、計画に取り入れられるものを実施してみる。	12ヶ月
3	4	会議メンバーによる「目標達成計画」の評価を行い、ホームの課題を共に考え、改善に向けた取り組みを後押しするような体制作りを期待したい。	外部の方に、グループホームの課題について報告する中で、問題解決のヒントが頂けるような場にしていきたい。	1. 運営推進会議のメンバーの方々にグループホームの課題を熟知して頂く。 2. 会議の中で気楽に意見を出して頂ける場にする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。